道徳だより 10

９／１７（１組）　２４（２組）

「わきだしたみず」の授業から

「困っている友達のことを考え、助け合おうとする態度を育てる。」というねらいで授業を行いました。お話は、主人公のかにが、池の水が干上がって困っている友達の魚たちを力の限り助けるというものでした。ペープサートを使って読み聞かせを行ったことで、子供たちはお話の世界に入り込み、かにの気持ちになって「友達と助け合うこと」についてじっくりと考えていました。

かにが大きな石にぶつかってしまった場面では、自分たちが実際にかにになって演技をすることで、困難にぶつかったときの気持ちや必死に困難を乗り越えて友達を助けようとする気持ちなどを真剣に考えていました。